

## 第2回川西市中心市街地活性化協議会 議事録要旨

- ◇日時 平成19年9月18日 10:30～12:00
- ◇場所 アステ川西5F 「コンパス」
- ◇議題 1. 基本計画策定のフローとスケジュール(案)について  
2. 中心市街地の状況について  
3. 基本計画策定区域の設定(案)について  
4. 基本計画の基本的な方針(案)について

### ▽副会長挨拶

- ・古川武司 副会長(川西能勢口振興開発(株))

### ▽新規加入した4団体の紹介

- ・ベルフローラかわにしイースト商店会
- ・ベルフローラかわにしウエスト商店会
- ・北摂百番街事業協同組合
- ・阪急電鉄(株)

### ▽議長挨拶 佐々木 保幸 教授(大阪産業大学)

- ・川西市に対しては、これまでも中心市街地活性化への取り組みや、産業ビジョン策定などへの参画を通じ、かかわりを持ってきた。
- ・中心市街地の活性化は、昨年度の法改正に伴い、「スピードと実現性」が求められるようになってきた。
- ・川西市における中心市街地の活性化テーマは、「大都市圏に位置する都市での中心市街地の活性化」であると考えている。
- ・これは地方都市における中心市街地の活性化とは異なり、新しい取り組みへの挑戦であると考えている。

## ▼ 議題

### <議題1:基本計画策定のフローとスケジュール(案)について>

<委員>・中心市街地の活性化に対し、庁内ではどのような議論がなされているのか教えて欲しい。

<事務局>・今回の中心市街地活性化基本計画は、市が策定を進め地域の関係者が、国や県の支援・協力を得ながら活動を行うこととなる。今回の基本計画では、概ね5年以内に完了する事業を挙げることとなっている。

<委員>・中心市街地活性化に対し、議会への説明内容や政策協議会の動きについて教えてほしい。

<事務局>・中心市街地活性化については、平成12年度に旧法による基本計画を策定した。その当時から市議会に対し、中心市街地の活性化の取り組みに関する報告を続けている。また、平成15年度には、市がTMO組織として川西能勢口振興開発(株)を認定した。これについても、中心市街地活性化の取り組みとして市が助成・補助金を入れている。  
・昨年の法改正により、基本計画の策定については、地域からの発意と、地域の方々が地域を動かす力を持ち、行政と地域が一体となった取り組みでなければ、内閣総理大臣の認定が得られないようになった。このことについても、市議会には報告している。

<議長>・新法における中心市街地の取り組みはそこが重要なポイントとなる。市は実現可能な事業がなくては、実現性が乏しくなることから認定を受けにくくなる。そのため今の2点については、しっかりと盛り込み基本計画を策定することとなる。

### <議題2:中心市街地の特性について>

<委員>・川西能勢口駅を中心とした区域では、これまで多くの再開発事業を実施してきたが、区域全体での動線計画を考えることなく、事業毎に計画し、整備してきた経緯があるため、駅からの人の流れが悪い。  
・中央北地区と川西能勢口駅周辺地区については、中央北地区だけで計画を完結させるのではなく、中央北地区と川西能勢口駅地区を結びつける動線計画等が必要であろう。例えば、駅周辺にまとまった駐車場を確保し、交通システムを介して中央北地区に人を運ぶということも考えてほしい。

<委員>・川西能勢口駅周辺では、西側は栄えているが、東側(市役所から川西小学校の間)はさびれてきている。

・これからの街づくり計画の検討は、駅東側の阪急用地等がある区域での開発に重点をおいてもらいたい。

また、今後市街地再開発事業を進める上で、住環境を重視するのか、商業環境を活発にする事を重視するかは市の基本計画の方針を踏まえて検討していきたい。

<委員>・企業側の事業提案と基本計画をどの段階で、どのように整合させるかを教えてください。

<事務局>・本日の協議会では、中心市街地のイメージと目指すべき方向性を示す。また、市でも策定連絡協議会を立ち上げ、同様の検討を開始する。その上で、第3回協議会で、具体的に構成員の皆さんが考えている事業を挙げてもらい、それらについて総合的な動線のあり方や、事業の取り組みについて協議し、基本計画に盛り込みたい。さらに、11月及び12月には、川西市の中心市街地が大きな目標をもち、どのような街に生まれ変わるのかということを示していきたいと考えている。

- < 委員 > ・中心市街地における人口の推移や高齢化率の推移などについて、客観的なデータを教えてほしい。  
・乗降数については、川西市内の乗降客が多いのか、宝塚市など周辺市の乗降客が多いのかということが、川西市の中心市街地を検討していく中で、重要な視点となろう。
- < 事務局 > ・中心市街地の人口については微増傾向である。今後、必要な時点で現況データは示していきたい。逆に、このような状況があるというデータについて、各委員からも出してほしい。
- < 議長 > ・産業ビジョンによると、人口は微増傾向であるが、着実に増加している。一方、高齢化率については約20%を超えている。人口は増加しているが、同時に高齢化率も上昇している地域であるということが典型的な状況である。もう一点は、産業（商業、農業、工業）の衰退も見られ、商業でも店舗数や従業員数等が非常に低調になっている。さらに、製造業の衰退は著しい。市の発展については、産業という視点からも、中心市街地をみていくことが重要である。
- < 委員 > ・川西市は源氏にまつわる歴史もあるため、そのことを採り入れられるのではないかと。  
・周辺の宝塚市などと比べて、文化施設が少ないことが課題としてあげられる。宝塚造形芸術大学とタイアップし、歩行者動線等については、オブジェの設置などを考えることも有効であろう。  
・歩道は整備され美しくなってきたが、街なかで緑がほとんど見られない。川西市は緑に囲まれた街というイメージがあるため、自然を採り入れた緑の多い街にするという視点も必要であろう。  
・川西市は殆どが住宅専用の地域であり、企業誘致が少ない。しかし、中央北地区に新たに工場を誘致してもあまり意味はないと思われるため、IT関連企業などを増やしていけないだろうか。製造工場を誘致するのは少し難しいように思われる。  
・不足している施設として挙げられるのはシティホテルである。  
・高齢化社会であるため、高齢者に対する歩道の整備やトイレの設置などの対応が求められる。
- < 議長 > ・中心市街地活性化基本計画は、パッケージづくりであり、トータルのメニューが必要である。しかし、全体での明確なコンセプトがなければ、寄せ集めのパッケージになってしまう。そこで現代的な視点や歴史的な視点、高齢化への対応等の視点が求められる。今後このようなことを議論しながら活性化に向けたコンセプトを打ち立て、活性化の事業を組んでいきたい。
- < 委員 > ・これまで中心市街地活性化協議会や総合計画審議会にも参加してきたが、どの会議が庁内で最も重きが置かれているのかを教えてください。また、各会議では非常に重要な意見が出されているが、その意見が他の会議で示されない事は残念である。他の会議で出された貴重な意見を、別の会議で示す仕組みを検討してもらいたい。
- < 委員 > ・川西市のまちづくりでは、再開発事業も完了し、ハコものは整備済みである。例えば、駐車場の整備の一つをとっても、中心市街地は車で訪れやすい街にするのが良いのだろうか。駐車場を整備したら本当に街が発展するのだろうか。それよりも、街なかには散策できて、クリーンな街にする方が川西市にとっては良いのではないかと、等から協議していくことが大切ではないか。
- < 委員 > ・施設などのハコものという視点で見ると、宝塚市や伊丹市など周辺都市には、質の高い施設が多い。そのような中で、川西市も文化施設等を整備し、同じ土俵で勝負をした方が良いのか。むしろそれらとは異なる、新たなイメージを打ち出した方がいかに考える必要がある。
- < 委員 > ・川西市は能勢電鉄や阪急電鉄、JR等が乗り入れる交通の要所であり、利便性の高い街であることをうたうべきである。自動車を利用する場合にも、名神高速の乗り降りは容易であり、阪神高速も整備された。市内には、多くの自然も残り、市内南側では農業用地も見られる。このような中で、様々なライフスタイルが凝縮している。川西市が他の町に誇れるようなものを作らなくてはならないし、この協議会は知恵を授けるようなことをしなくてはならないのではないかと。
- < 委員 > ・川西市内には、かつて魅力的な商店街が存在しており、市民が能勢口の商店街と聞いたら、非常に発展している印象を持っていた。また、国道176号沿いも発展していた。個人的には、町は整備されて美しくなったが、逆に商店街がなくなり、さびれてしまったという印象を持っている。全国では約5000以上の商店街があり、一商店街あたり平均約54店舗で構成されているようであるが、川西市には、そのような規模の商店街は存在しない。今後のまちづくりでは、良い商店街を作り出してほしい。

### < 議題3: 基本計画策定区域の設定(案)について >

- < 委員 > ・この協議会で出された意見等は、市が策定する基本計画に、どのように反映されるのか。また、どの様にして整合を図るのか。
- < 事務局 > ・庁内での基本計画の策定については、市まちづくり部都市再生室都市整備課が事務局となり、関係部署の部長を対象に構成される策定連絡協議会を立ちあげている。一方、本協議会においても市の職員が参加しており、協議会で出された意見等については、新たな基本計画に加えることになる。
- < 議長 > ・議題1の基本計画策定のフローの中で、活性化協議会と並行して策定連絡協議会を設定している。連絡協議会の中で、市内部の調整や整合性を検討することになっており、この協議会は突出したものにはならない。本日呈示されている区域の設定(案)等についても、そのような検討を踏まえた上で示されているものである。

〈委員〉・川西市は南北に長い都市である。川西市を縦貫する川西池田線の交通量は多いが、これ以外に、国道171号線に直結し、非常に便利な小花滝山線の交通量も増加している。都市の動脈部分を、利用しやすい状況となるように考える必要があるのではないか。今のままでは、車の流れが良くなりつつある区域において、地域住民にとっては非常に危険な区域になると考えられる。活性化基本計画の区域に盛り込み改善を図らなければ、危険な道路のままという印象を受けた。

〈事務局〉・川西市の最上位計画は総合計画である。小花滝山線の扱いや、市内の道路体系については、総合計画で、道路部局が大方針を検討している。お話のあった区域は、道路幅員が狭く、そこに広幅員道路を通すか否かについては総合計画で議論されることである。この時点では、当該区域を中心市街地活性化区域には加えていない。

・中心市街地活性化を図る区域については、大きく3つの条件がある。①その区域で公益施設、商業施設群が存在するエリア。②公益施設や商業施設などが十分に使われていないエリア。③活性化のための取組みを行うことで、地域が潤い、活性化が図られるエリア。これらに該当する区域を、中心市街地として活性化を図るエリアとしている。また、法改正によりコンパクトに集中するエリアとする事が求められていることから、図示したような区域設定となっている。

〈委員〉・小花滝山線沿道は、十分に3つの条件が当てはまるエリアではないか。またこの区域は中央商店街の延長線上に存在したという歴史もあることから、ここも活性化を図る区域に当てはまると考えられる。区域の設定については、再度検討してほしい。

#### 〈議題4:基本計画の基本的な方針(案)について〉

〈委員〉・川西能勢口駅東地区での開発が必要であると考えている。これまで各事業対象区域で個別に計画し整備してきたことが、現在のように動線が連続しない等の状況を作り出している。駅周辺全体での動線等を10年前から考えていたら、より魅力的な街になっていたのではないかと。今後の川西市を担っていく市街地再開発事業地区、阪急電鉄用地の活用、緑の確保、シティホテルの立地等を、東地区で検討してもらいたい。小花滝山線沿道の土地利用も検討したうえで、位置づけてほしい。

〈委員〉・基本計画で示す事業は何年で整備を行う必要があるのか教えてほしい。

〈事務局〉・基本計画では、概ね5年以内に事業が完成するものが目安となる。また、認定を受けるためには5年以上を要するものも含まれると思うが、事業主体が明確で、5年以内に着手できることが条件となる。さらに、今回皆さんに出席していただいているのは、各事業主体から独自の事業を示してもらっただけではなく、商業の活性化、公共交通に関する整備、来街者を増やすために多彩な公共、公益機能を導入し、大阪圏において魅力的な街とするための協議を行っていただくことが使命となる。

〈委員〉・川西市は全国的に見て、市街地再開発事業で成功をおさめた都市といわれている。10数年前は阪急百貨店が出店し、アステ川西も立地にぎわってきた。ところが先ほどから活性化の話題ばかりが出ている。私は、市街地再開発事業で成功した都市が、なぜ今このような状況になってきているのかということ、最初に検証する必要があると考えている。それがなければまた同じような状況になるのではないかと。周辺都市に大規模小売店舗が出店したことが要因で、中心市街地が現状のようになったということを確認し、活性化に向けた検討を行わなくては、議論が前進しないのではないかと。

〈議長〉・私もその点は同感である。現段階では、議題2における現状把握が弱い。次回以降の検討の中で、データを見ながら議論できるようにしてほしい。

・活性化の基本方針は、庁内の他会議での議論とどこで整合しているのか。

〈事務局〉この中心市街地活性化協議会には大きく2つの目標がある。一つは川西市が策定する基本計画に意見を述べるということ。もう一つは、意見を述べるだけでなく、この中心市街地の中で、活発な取組みを行いながらにぎわいを取り戻すということである。庁内の会議の中でも、活動までを一つの目標にした会議は少ないのではないかと。この協議会で決められた方針を踏まえ、皆さんで中心市街地の活性化を進めてもらいたい。

〈議長〉・議題の3と4について、これが最終決定ということではないが、本日のところは、ここで示した案でよいか。また、基本的な方針についても、生活者の視点で既存の地域資源等を活用しながらすすめることとしてよろしいか。

〈委員〉・特に異議なし

〈議長〉・本日の意見を踏まえ、事務局では次回の資料作成を行ってもらいたい。

▽閉会